

R22冷媒は2020年には実質**全廃**になります。

修理・
メンテナンスが
困難になる
前に…

エアドライヤを 入替えませんか?

10年以上ご使用になっている製品について、
ぜひ見直しをご検討ください。

SMCなら
ワンストップ!

SMCではエアドライヤだけでなく、圧縮空気清浄化システム全般についても
最適かつ**省エネ、省スペース**となる製品のご提案をさせていただきます。
ぜひ当社にご相談ください。

R22冷媒使用冷凍式エアドライヤの対象製品

標準入気ドライヤ	IDF11C~75C
高温入気ドライヤ	IDU11C~75C
大型ドライヤ	IDFB125B~370B

新冷媒タイプ
(R134a, R407C, R410A)

SMC製新冷媒冷凍式 エアドライヤ代替機種

R22使用機種	代替機種
IDF11C	IDF11E
IDF15C	IDF15E1
IDF22C/C1	IDF22E/IDF60
IDF37C/C1	IDF37E/IDF70
IDF55C	IDF55E/IDF80
IDF75C	IDF75E/IDF90
IDU11C	IDU11E
IDU15C	IDU15E1
IDU22C/C1	IDU22E
IDU37C/C1	IDU37E
IDU55C	IDU55E
IDU75C	IDU75E
IDF125B	IDF125F
IDF150B	IDF150F
IDF220B	IDF240D
IDF370B	IDF370D

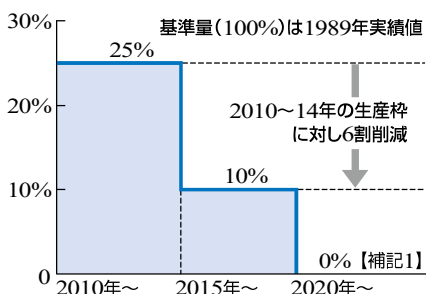


他社製品を設置されている場合でもお気軽にご相談ください。

HCFC(R22冷媒等)の国内生産 削減・全廃のお知らせ

オゾン層破壊物質であるHCFC類は2010~2014年の年間生産枠に対し以下の通り削減されます。

6割削減(生産枠4割へ) …… 2015年1月1日から
生産ゼロ化【補記1】 …… 2020年1月1日から



この削減・全廃は政府間国際協定(モントリオール議定書; 1987年)及びオゾン層保護法(1988年制定)に基づくもので、既にCFC(R12、R502等)の生産は1996年に全廃されています。なお、国内の冷凍空調機器メーカーは既にR22対応製品から代替冷媒製品の生産・販売へ移行済みです。また経産省・環境省は改正フロン法【補記2】に基づくフロン類再生業の準備に着手しています。(再生量は該当するフロン類の廃棄量等に制約されます。)

【補記1】モントリオール議定書では、2020年時点で現存する冷凍空調機器への補充用途のHCFCに限り2029年末まで生産を認める特例が存在します。ただし、通商産業省化学品審議会オゾン層保護対策部会中間報告(平成8年3月14日)においては、上記の補充用途も含めて、2020年のHCFC生産・消費量の削減・全廃を目標とすることとされています。

【補記2】フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律(平成25年6月12日公布 法律第三十九号)。なお、再生されるフロン類はモントリオール議定書の削減・全廃の対象となりませんが、再生量はフロン類の廃棄量と回収率、再生設備等に制約されます。

一般社団法人 日本冷凍空調工業会(JRAIA)

